

平成30年度 第1回国有林モニター勉強会を開催しました

7月25日、平成30年度第1回国有林モニター勉強会を四国森林管理局で開催しました。四国4県から15名のモニターの皆様にご参加いただきました。

まず、このたびの平成30年7月豪雨により四国各地で多く被害が発生していることから、7月11～13日のヘリコプターによる県との合同調査、7つの森林管理署によるドローンや踏査による民有林や公道の被害状況の調査、7月25日～8月8日の林野庁、九州・関東・四国の各森林管理局の治山技術者で構成する「山地災害対策緊急展開チーム」の愛媛県への派遣など、四国森林管理局の取組を説明しました。その後、主伐・再造林の一貫作業によるコスト削減、シカ対策、人材育成などの取組も説明し、意見交換を行いました。意見交換では、治山ダムの機能と役割、ニホンジカによる森林被害状況と対策、林業の担い手や女性林業者の動向、松食い虫被害対策、四国森林管理局の对外発信の強化など、様々なご意見をいただきました。

午後は、高知県で最大規模の製材工場である「高知おおとよ製材」、CLTを本格活用した木造建築物である「高知県森林組合連合会事務所」を見学しました。

次回の国有林モニター勉強会は秋頃に行う予定です。四国森林管理局では、国有林モニターの皆様からいただいたご意見を踏まえ、水源涵養、山地災害防止などの役割を担う国有林の健全な管理経営と地域の森林・林業の活性化に向けた取組を推進してまいります。

(参考) 平成30年年7月豪雨に対する四国森林管理局の対応 (平成30年7月24日現在)



四国森林管理局森林局での勉強会の様子



野津山局長の挨拶

昼食後、高知県内で最大規模の製材工場である「高知おおとよ製材」を見学しました。



高知おおとよ製材の見学の様子①



高知おおとよ製材の見学の様子②



高知県森林組合連合会
CLT 事務所の見学の様子①



高知県森林組合連合会
CLT 事務所の見学の様子②